

【各部門専門実践プログラム】

【ICT 部門】（定員 40 名） 13:00 ~ 16:30

テーマ：臨床検査から考える抗菌薬適正使用支援プログラム (Antimicrobial Stewardship Program:ASP)

従来から、医療施設における感染対策には感染制御チーム (ICT) が活動していますが、加えて、患者への抗菌薬使用を適切に管理する対策として、抗菌薬適正使用支援チーム (AST) や抗菌薬適正使用支援プログラム (ASP) が注目されています。臨床検査技師が実践する ICT 活動では薬剤耐性菌の検出やモニター、施設内伝播時の分類 (表見型や遺伝子型) が、AST 活動では検査する薬剤の種類やその報告方法が重要となります。今回は、臨床検査技師がどのようにすれば抗菌薬適正使用支援にかかわっていただけるのかを考え、実践できるセミナーを企画しました。

内容：第一部《講義》

「抗菌薬の作用機序から抗菌薬適正使用を考える ~β-ラクタム系抗菌薬を中心に~」

講師：京都府立医科大学附属病院 薬剤部 小阪 直史 先生

第二部《ワークショップ》

京都府立医科大学附属病院 小森 敏明 先生、神戸市立西神戸医療センター 山本 剛 先生

薬剤感受性検査のセット薬剤や症例を基にした結果報告書をもとに、グループディスカッション形式で薬剤師と臨床検査技師がどのように関わるべきかを学ぶことができる研修内容です。

※ASTに参加している薬剤師との意見交換できる場となる様、薬剤師や看護師の方も参加可能です。

【糖尿病療養指導部門】（定員 40 名） 13:00 ~ 16:30

テーマ：出来ていますか？ SMBGの有効活用！

内容：第一部《講義》

「活かせていますか？ SMBGの有用性」

講師：姫路循環器病センター 糖尿病センター 副センター長 橋本 尚子 先生

第二部《グループディスカッション》

糖尿病療養指導で SMBG の活用方法について、『患者さんがうまく血糖管理を出来るようになるためには、どのように介入すればよいの？』『1型糖尿病患者と2型糖尿病患者では指導ポイントって違うの？』と悩んでいる医療スタッフも多いと思います。SMBGを意味のある血糖測定にするために皆さんと一緒に考えてみたいと思います。FGMを使用した症例もあります。ご興味のある方は是非ともご参加ください。

【NST 部門】（定員 40 名） 13:00 ~ 16:30

テーマ：教えて！多職種で参加するNSTをもっと知ろう！！

講師：神戸大学医学部附属病院 栄養管理部 副部長 高橋 路子 先生、

京都民医連中央病院 薬剤師 日比 麻有 先生、神戸大学医学部附属病院 摂食嚥下認定看護師

上岡 美和 先生、六甲アイランド甲南病院 管理栄養士 阿部 和徳 先生、六甲アイランド甲

南病院 臨床検査技師 元林 富博 先生

内 容：NSTラウンドでは医師や薬剤師、管理栄養士から専門的な発言があり、『なんだかよくわからないな？』と感じたままになっている事はないでしょうか？今回は、各職種のスタッフがNSTで発言している基本的な内容をわかりやすくお話していただき、少しでもNSTラウンド内の会話が理解できれば、よりNSTに興味をもてるのではないかと考え企画しました。また、経腸栄養剤の試飲をしていただき、栄養剤の特徴を知ってもらう企画も用意しています。

参加費：2,000円（一律、テキスト代込み） 申込方法：事前申込み制（別紙「申込み方法」参照）

問合せ先：兵庫県臨床検査技師会 チーム医療部門 班長 中筋幸司 nakasuji.takarazuka@gmail.com